

活動名	令和6年度応用理学研究会野外見学会 (CPD番号 6-3)
主催	(公社) 日本技術士会東北本部岩手県支部応用理学研究会
日時	2024年10月9日(水) 9:30~16:00
場所	盛岡市繫、雫石町上野、雫石町御明神ほか
参加人数等	26名
活動内容	
<p>岩手県支部応用理学研究会では、今年度も継続研鑽の一環として野外見学会を企画し、次のような内容と行程で見学を行いました。</p> <p>テーマ：雫石盆地周辺の層序と地質構造 案内者：越谷 信 氏 岩手大学名誉教授 理学博士 岩手大学地域防災研究センター 客員教授</p> <p><行程>：9:30~10:00(0.5h) Stop 1 御所ダムサイト周辺：中期中新世飯岡層 全体説明・飯岡層露頭観察・御所ダム見学 10:30~12:30(2.0h) Stop 2 上野沢沿い：雫石盆地西縁断層帯と背斜構造 Stop 2-1 橋場層デイサイト質凝灰岩 Stop 2-2 山津田層デイサイト質凝灰岩 Stop 2-3 舛沢層成層した細粒砂岩、凝灰岩を挟む Stop 2-4 橋場層デイサイト質凝灰岩 Stop 2-5 岩屑なだれ堆積物?</p> <p>14:00~16:00(2.0h) Stop 3 赤渕下流竜川沿い：中~後期中新世小志戸前沢層と鮮新世舛沢層の境界と活構造 Stop 3-1 小志戸前沢層成層細~中粒砂岩(各種堆積構造) Stop 3-2 小志戸前沢層塊状中粒砂岩(ノジュール、断裂構造) Stop 3-3 小志戸前沢層・舛沢層の境界構造 予備(実施せず) 16:10~17:00 Stop 4 大地の沢・志戸前川合流点付近：中期中新世国見峠層・竜川層 Stop 4-1 国見峠層 Stop 4-2 竜川層</p> <p><オブザーバー参加>：佐藤修一郎 氏(岩手県立博物館 専門学芸調査員)</p> <p>当日は秋晴れとは言えないまでも雨の降ることもなく、程良い見学会日和となりました。参加者は総員で26名でした。当研究会の見学会では例年、技術士同伴の下、技術士を目指す若手技術者の方等にも、ご参加をいただいております。今回は特に多くの若手技術者の方に参加をいただき、20代~70代までの非常に幅広い世代の技術者が一緒に見学会を実施できたことは、とても意義深いことではないかと思えます。</p> <p>次の機会においても、さらに多くの技術者の方にご参加をいただき、世代間でコミュニケーションを図りながら、応用理学の見学ができれば非常に有難いものと考えております。</p> <p>最後に、お忙しい中、見学会の開催にご尽力をいただき、案内役をお引受けいただきました越谷先生、本当にありがとうございました。また、何より事故なく無事に見学会を行えましたことについて、ご参加をいただいた皆様方のご協力・ご配慮に深く感謝申し上げます。</p> <p style="text-align: right;">《菅原 弘 記》</p> <p>・・・次ページ以降に活動状況写真・・・</p>	

Stop1: 御所ダムサイト周辺



御所ダムサイト脇の駐車場に集合しての、
開始前オリエンテーションの実施状況



マイクを使って熱心に解説をしてい
ただく越谷先生



御所ダムサイトをバックにした集合写真



飯岡層安山岩質火山角礫岩の観察



御所ダムの複合ダムの構造について

Stop2: 上野沢沿い



車で移動しながら橋場層デイサイト質凝灰岩の観察



舛沢層細粒砂岩・凝灰岩互層の観察



上野沢河床に降りての山津田層デイサイト質凝灰岩の観察



再び現れた橋場層デイサイト質凝灰岩の観察

Stop3 : 赤淵下流竜川沿い



竜川河床に降りて越谷先生の説明を聞く参加者の様子



小志戸前沢層の断裂の微細構造の観察



小志戸前沢層の岩相や層理の観察



Stop3 : 小志戸前沢層の露頭での集合写真